



津波に対して、どんなことに気をつけたらいいの

「津波警報」などを確かめて、ひなんする

大きな地震が起こったとき、気象庁では、津波が起こるかどうかを、できるだけ早く調べています。津波がおしよせてくる危険があるときは、「津波警報」や「津波注意報」を出しています。海辺に住んでいる人は、地震が起こったときに、テレビやラジオで、津波の報道を確かめてください。

津波の速さは、とても速く、時速数百キロメートル、といわれています。地震が起こったとき、テレビやラジオの報道で、危険を感じたら、すぐに高い所へひなんします。

大きな地震が起こったら、すぐにひなんする

テレビやラジオの報道がなくても、遠くで海鳴りがしたり、かみなりのような音がしたら、津波の前ぶれと考えられるので、高い所へひなんします。

津波がおしよせてくる周期は、いつも決まっていません。数分の周期でくるものがあるし、2時間の周期のものもあります。一度津波がきたら、もうこないだろうと思ってはいけません。じゅうぶんに、注意する必要があります。

地震が、すぐ近くで起こったとき、「津波警報」が出される前に、津波がくるときがあります。1993年の北海道南西沖地震では、「津波警報」の前に、奥尻島を大きな津波がおそいました。震源（地震の起こった所）が近かったので、「津波警報」が間に合わなかったのです。このようなこともあるので、大きな地震が起こったら、すぐに、高い所へひなんするようにします。（監修・国司 真）

